

一般社団法人日本ペインリハビリテーション学会
関係各位

第22回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

大会長 西上 智彦

謹啓 陽春の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第22回日本ペインリハビリテーション学会学術大会を2017年9月30日（土）～10月1日（日）の2日間、神戸商工会議所にて開催する運びとなりました。

生物心理社会モデルが提唱されてから40年ほど経ち、本邦においても、疼痛を生物心理社会モデルの観点から捉えることは浸透しつつあります。例えば、破局的思考の指標であるPain Catastrophizing Scale (PCS)や運動恐怖の指標であるThe Tampa Scale of Kinesiophobia (TSK)を用いた研究報告は数多くされてきています。しかし、研究レベルでは行われているものの、実際の臨床で生物心理社会的要因を評価し、解釈し、リハビリテーションを実践しているかという点と不十分なのが現状です。そこで、第22回大会では、「Clinical Pain Rehabilitation ～概念から臨床実践へ～」をテーマに掲げました。今学会では、生物心理社会モデルに基づいたPain Rehabilitationを臨床現場で浸透させることを目的とし、さらに、蓄積されつつある効果検証の流れを広げていく機会にしたいと考えております。そのために、大会長講演、特別講演、シンポジウム1・2、教育講演ならびに一般演題発表などを準備しました。

大会長講演「Clinical Pain Rehabilitation ～概念から臨床実践へ～」では、概念を紹介し、今、何が実践できていなくて、まず、何が必要なのか提起します。特別講演「Clinical Pain Rehabilitation への期待」では、運動療法を提供する上で、強力な後ろ盾になる基礎的なデータを示していただき、今後のClinical Pain Rehabilitation への期待をご講演していただきます。シンポジウム1「骨・関節痛に対するペインリハビリテーション」では、日常臨床でよく遭遇する骨・関節痛に焦点をあて、医師、理学療法士、作業療法士それぞれの立場から最新的话题を提供していただきます。シンポジウム2「中枢機能障害性痛に対するペインリハビリテーション」では非特異的腰痛症、線維筋痛症、複合性局所疼痛症候群などの中枢神経系の機能異常が引き起こす疼痛の概念、ペインリハビリテーションの実際をまとめていただきます。特別企画「運動器疼痛に対するリハビリテーションの効果と限界～それぞれの立場から～」では運動器疼痛に対する様々な視点から、それぞれの得意・不得意を確認し、今後の臨床指針を構築することを目指します。一般演題では研究報告、さらには、ペインリハビリテーションの実践を積み上げていくには欠かせない症例報告をお持ちしております。

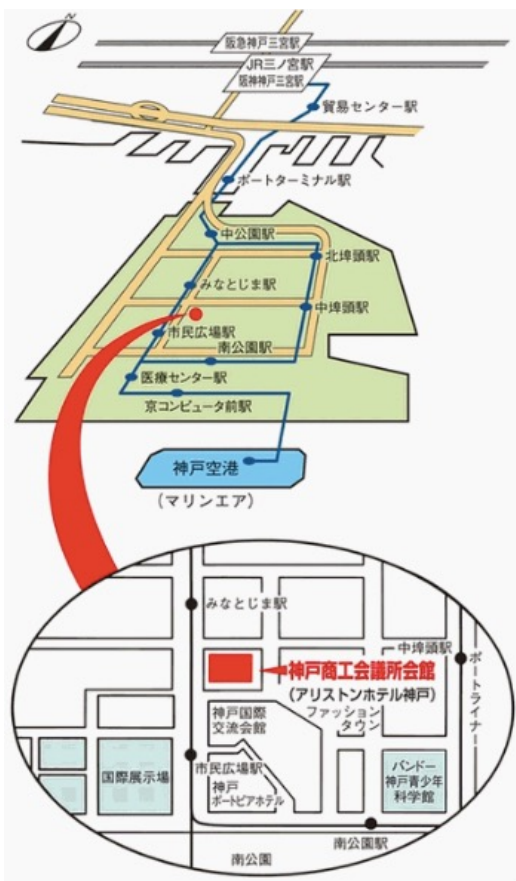
多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしておりますとともに、絶大なるご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

第22回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

【開催概要】

主催：一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会
会長：西上 智彦（甲南女子大学看護リハビリテーション学部）
会期：2017年9月30日（土）～10月1日（日）
テーマ：「Clinical Pain Rehabilitation ～概念から臨床実践へ～」
演題募集期間：2017年4月3日（月）～6月18日（日）
会場：神戸商工会議所
〒650-8543 神戸市中央区港島中町6丁目1番地
<http://www.kobe-cci.or.jp>
参加費：会員 10,000円， 非会員 12,000円， 学生 1,000円



電車ご利用の場合

「JR三ノ宮駅」、「阪急神戸三宮駅」、「阪神神戸三宮駅」からのりかえ。ポートライナーで10分。「市民広場」駅下車。北へ徒歩約5分

お車ご利用の場合

神戸大橋より中央の車線を直進。

懇親会

参加費：一般 3,000円， 学生 1500円

日時：2017年9月30日（土） 18:30～20:00（受付 18:15～）

会場：アリストンホテル神戸 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-1

大会スケジュール

2017年9月30日(土)

時間	メイン会場 神商ホール	ポスター会場 イベントホール
9:00	受付開始	
9:30	教育講演 1)「一次侵害受容ニューロンのメカニズム」 座長 城 由起子(名古屋学院大学 リハビリテーション学部) 講師 中野治郎(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科) 2)「慢性痛に対する認知行動療法の基本的な考え方」 座長 井上雅之(愛知医科大学 運動療育センター) 講師 細越寛樹(畿央大学 教育学部) 3)「地域医療におけるペインリハビリテーション」 座長 片山 脩(渡辺病院 リハビリテーション科) 講師 大友 篤(仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科)	ポスター貼付
10:50	休憩	
11:00	大会長講演 「Clinical Pain Rehabilitation～概念から臨床実践へ～」 座長 坂本淳哉(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科) 講師 西上智彦(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部)	
11:20	特別講演 「Clinical Pain Rehabilitation への期待」 座長 西上智彦(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部) 講師 仙波 恵美子(大阪行岡医療大学 医療学部)	ポスター展示
12:20	休憩	
13:30	総会	
13:50		ポスター発表
14:20	休憩	ポスター展示
14:30	シンポジウム1「骨・関節痛に対するペインリハビリテーション」 座長 片岡英樹(長崎記念病院 リハビリテーション部) 平川善之(福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション科) 「骨・関節痛 Update」 シンポジスト 泉 仁(高知大学医学部 整形外科) 「骨・関節痛に対する理学療法」 シンポジスト 今井亮太(畿央大学大学院健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室) 「骨・関節痛に対する作業療法」 シンポジスト 平賀勇貴(福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション科)	
16:00	一般演題1 治療	
17:00	休憩	
17:10	一般演題2 基礎, 病態	
18:30	懇親会 会場 アリントンホテル神戸	

2017年10月1日(日)

時間	メイン会場 神商ホール	ポスター会場 イベントホール
9:00	一般演題3 治療, 評価	ポスター展示
10:10	休憩	
10:20	特別企画「運動器疼痛に対するリハビリテーションの効果と限界～それぞれの立場から～」 座長 沖田 実(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科) 坂野裕洋(日本福祉大学 健康科学部) 「ペインリハビリテーションの立場から」 シンポジスト 松原貴子(日本福祉大学 健康科学部) 「運動器理学療法士の立場から」 シンポジスト 木藤伸宏(広島国際大学 総合リハビリテーション学部) 「徒手療法の立場から」 シンポジスト 浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部)	
11:40	休憩	
11:50		ポスター発表
12:20	休憩	ポスター展示
13:40	シンポジウム2「中枢機能障害性痛に対するペインリハビリテーション」 座長 壬生 彰(田辺整形外科上本町クリニック リハビリテーション科) 大住倫弘(畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター) 「中枢機能障害性痛の概念及び治療法」 シンポジスト 三木健司(大阪大学大学院 医学系研究科疼痛医学寄附講座・早石病院疼痛医療センター) 「中枢機能障害性痛に対する包括的運動療法」 シンポジスト 下 和弘(愛知医科大学 運動療育センター・学際的痛みセンター) 「中枢機能障害性痛に対する先駆的ペインリハビリテーション」 シンポジスト 大住倫弘(畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター)	ポスター撤去
15:10	次期大会長挨拶ならびに表彰式・閉会の辞 坂本淳哉(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科, 第23回学術大会長)	ポスター撤去

第 22 回 日本ペインリハビリテーション学会学術大会

一般演題募集要項

■ 演題募集期間

2017年4月3日（月）～6月18日（日）

■ 応募演題

- 一般演題は「口述発表」または「ポスター発表」となります。
- 抄録文字数は本文 600 字、タイトル(70 字以内)・発表者・所属・キーワード(3 個以内)を含めて 800 字以内です。
- 発表時間などの詳細については後日、学術大会ホームページ(<http://painreha.com>) 上でお知らせします。
- 発表形式は査読結果をもとに大会長が決定します。

■ 応募条件

- 発表は筆頭演者もしくは共同演者に(一社)日本ペインリハビリテーション学会の会員が 1 名以上含まれる場合のみ認められます。
- 未入会の方は応募される前に入会手続きを行ってください。
- 会員で今年度ご所属が変更になった方は(一社)日本ペインリハビリテーション学会事務局までご連絡ください。(第 22 回の運営事務局では会員情報の変更には対応できませんのでご了承ください。)
- (一社)日本ペインリハビリテーション学会 HP
「入会・登録情報変更」: <http://japr.hp4u.jp/admission>

■ 応募方法

- 演題登録は、演題登録期間中に学術大会ホームページより抄録シートをダウンロードし、E メールにてご応募下さい。送付先:painreha22@yahoo.co.jp
- 抄録に図表や写真の添付はできません。
- 登録された抄録に関しては、誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いません。そのまま抄録集に印刷されますので、登録者の責任において確認をしてください。
- 締切後の原稿の変更および所属施設・共同演者の追加・修正には対応できません。十分ご確認のうえ、登録を完了してください。

■ 演題審査

- 演題の査読は査読委員が行い、大会長が採択の可否および発表形式を決定します。
- 審査結果は演題応募者の連絡先 E メールアドレス宛に通知します。
- 採択された演題の取り消しはできません。

■ 応募演題に対する倫理上の注意

- ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認してください。
- 発表演題に対する倫理的配慮に関しては抄録に記載せず発表に含めてください。
- 特にプライバシーや人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを演題中に明記してください。

■ 利益相反情報の開示について

- 口述発表の場合：発表時に、スライドの 2 枚目に、別に定める（様式 1）(<http://japr.hp4u.jp/>)により、利益相反に関する報告事項を開示してください。
- ポスター発表の場合：別に定める（様式 1）(<http://japr.hp4u.jp/>)に基づいて、ポスター内に利益相反に関する報告事項を開示してください。
- なお、利益相反に関する報告すべき事項がある場合は、口述発表・ポスター発表に関わらず（様式 2）(<http://japr.hp4u.jp/>)を抄録シートと共に学術大会事務局に提出してください。

■ **学会奨励賞**

- 一般演題の発表の中から学会奨励賞を選出いたします。
- 選考は(一社)日本ペインリハビリテーション学会代議員によって行われ、学会 2 日目の閉会式で表彰いたします。